

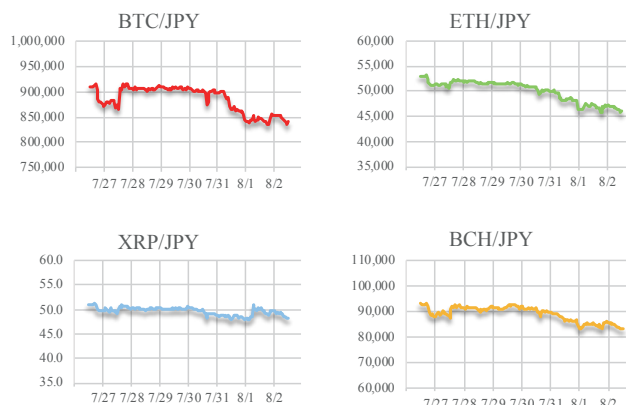
今週の相場動向

相場回顧 BTC下落 為替市場の動きが影響か

BTCは、SECによるウィンクルボス兄弟のビットコインETF申請却下を受けた前週の下落から回復し、BTC=90万円付近で底堅く推移していたが、7/31から8/1にかけて価格を下げ週足では2週間ぶりの下落となった。この下落については、韓国政府による税制優遇見直し報道や調整売りによるものとの見方もあるが、為替市場の動きによる影響が大きいだろう。米中貿易を巡る緊張緩和への期待から為替が大きくドル高に触れたことで、一部の為替(FX)トレーダーが資金を仮想通貨からフィアットに移す動きが強まったと考えられる。XRPはSBI決算説明等も後押ししBTC建てでわずかに上昇。

今週のトピックス

- ・SEC、ウィンクルボス兄弟によるビットコインETF申請を却下。(7/27)
- ・LTC創業者、台湾家電HTCのアドバイザーに就任。(7/30)
- ・韓国政府、中小企業税制優遇対象から仮想通貨関連企業の除外を検討。(7/30)
- ・中国マイニング企業Bitmain、2018Q1純利益は約10億ドルと発表。(7/30)
- ・豪州商銀CBA、ブロックチェーン技術を用いた輸送実証実験に成功。(7/30)
- ・クリントン元大統領、10月開催のRippleカンファレンス登壇へ。(7/31)
- ・2018上半期米国ブロックチェーン企業へのVC投資額が前年を超過。(7/31)
- ・米国取引所Coinbase、英国ユーザー向けにGBP取引を追加。(8/1)
- ・CoinMarketCap、開発者やファン向け有料APIを提供すると発表。(8/1)
- ・フィリピン証券委員会、ICO規制法案を承認。(8/2)



	BTC/JPY	ETH/JPY	XRP/JPY	BCH/JPY
27-Jul	866,369	50,518	49.19	87,586
28-Jul	903,170	51,594	49.88	90,136
29-Jul	909,147	51,549	50.20	91,942
30-Jul	903,844	50,914	49.61	91,270
31-Jul	864,173	48,178	48.25	86,193
1-Aug	846,379	47,169	50.17	84,943
2-Aug	840,728	46,059	48.37	83,388
前週対比	▲ 7.72%	▲ 13.04%	▲ 5.40%	▲ 10.53%

※終値を日本時間0:00とする

来週の相場予想

来週の相場予想

BTCは軟調な推移となるか。今週の下落を受けてビットコインETF承認による上昇期待は薄れており、SECがCBOE申請分の承認可否を判断する期限と言われる8/10(金)付近にかけては、積極的な買いは手控えられると思われる。直近下値としてはBTC=84万円、次には5月末に付けたBTC=80万円付近が意識されるだろう。一方で、来週はトレーダーによる夏季休暇前の動きが活発化すると考えられる。比較的ボラティリティの低いBTCに資金を寄せる動き、仮想通貨から株式等その他資産に資金を移す動き、様々考えられるが大口売買の有無によって相場が乱高下する展開も起こりうるだろう。

ICOスケジュール

Date	Project	Category	Pre/Crowd	Period	Hardcap
-	-	-	-	-	-

来週のトピックス

- ・World Blockchain Roadshow Asia Part 2開催中。(7/28-8/5)
- ・BTM(Bytom)、中国取引所Bitboxに上場。(8/3)
- ・EOSハッカソンがシドニーで開催。(8/4-5)
- ・SEC、CBOE申請のビットコインETF承認可否判断。(8/10)

・本資料は情報提供を目的とし、弊社が信頼でき、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊社はその情報の正確性を保証するものではありません。

・記載された意見や憶測等は作成当時の筆者の一見解を示すものであり、記載された内容を投資等にご利用になる際には、ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

個別企業動向①

8/1、韓国取引所 Bithumb は新規口座開設を一時停止した。理由は取引銀行との契約更新が難航している為である。国内銀行（農協銀、新韓銀）は相次ぐハッキング被害を理由に Bithumb との契約に難色を示している。韓国当局は 2018/1 月に AML 対策や犯罪防止の目的から実名取引制度を新設し、その中で、取引所は 6 ヶ月ごとの取引銀行との契約更新が義務付けられている。今回が新設後第 1 回目となるが、Upbit、Coinone、Korbit といったその他国内取引所が難なく契約更新する中で、国内取引高 1 位の Bithumb だけが更新できていない状況にある。Bithumb は今年 6 月のハッキング被害以降入金サービスを停止し、それは今も再開されていない。銀行は Bithumb に 1 ヶ月の改善猶予を与えているが、Bithumb は銀行だけでなくユーザーの信頼を失わない為にも早急な対応が求められる。

技術動向

7/27、ETH 開発者らは次期大型ハードフォーク (Constantinople) を 10 月 2 週目辺りに行う予定であると発表した。7/31 には ETH の Github 上で Geth v1.8.13 と Swarm v0.3.1 がリリースされた。Geth は Go-ethereum の略で Go 言語により実装された ETH ネットワーククライアントを指し、Swarm は ETH の Dapp コードやブロックチェーンデータ等を記録するストレージを指す。今回のメンテナンスリリースでは Constantinople に向けた EIP (改善提案) -1014 や EIP-1052 の準備段階の実装も含まれており、開発者らはソースコードの改善やバグの修正等に日々励んでいる。ETH は 7/30 で 3 周年を迎えた。開発当初より 4 段階のアップデートが想定されており、今回は 3 段階目の最終局となるが、ユーザーが価格に一喜一憂する裏では開発者らによる弛まぬ努力が重ねられている。

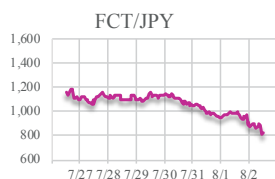
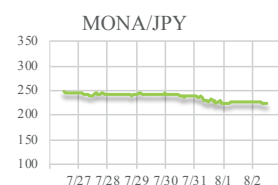
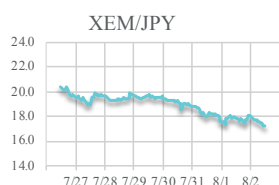
個別企業動向②

7/31、中国大手取引所 Binance が米国に拠点を置くモバイルウォレット企業 TrustWallet の買収を発表した。TrustWallet は ERC トークン対応のウォレットアプリを iOS、Android、GooglePlay それぞれでリリースしている。今回の買収に関して Binance 側は「TrustWallet の技術力を評価しており、分散型取引所 (DEX) 構想を含め Binance サービス向上の為に必要であった」と述べている。TrustWallet 側も「経営の部分を Binance に任せることで自分たちは開発に専念することができる」と今回の買収を好意的に受け止めている。TrustWallet の独立性は今後も大部分は維持され、同社ウォレットは Binance の DEX におけるデフォルトウォレットの 1 つになる予定である。Binance を筆頭に、業界内での M&A は今後も増えることが予想される。

コラム：ICO と自分 どっちが Scam ?

これまで私も多くの ICO プロジェクトに会ってきたが、その中でふと考えたことがある。「この ICO プロジェクトと自分どっちが詐欺 (Scam) だろう」と。これまでに 1 度だけ真正正銘の Scam に会ったことがあるが、大抵の場合この問いに対する答えはこうだ。「自分の方が Scam である」想像してほしい。得体の知れない若い外国人から突然メールが来て、インタビューさせてくれないかとオフィスに来るのである。一体誰が相手をするだろうか。日本企業であればなおさら相手をする訳がない。しかし、海外そして特にこの業界ではそれが通用した。今でこそ繋がりも増え、会いたいプロジェクトに会う術も覚えたが、かつての私は紛れもなく Scam であった。ICO をなんでもかんでも Scam 呼ばわりする人をたまに見かけるが、その人に聞きたい。「あなたは一体何者か」と。

その他アルトコイン動向 (参考)



・本資料は情報提供を目的とし、弊社が信頼でき、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊社はその情報の正確性を保証するものではありません。
 ・記載された意見や憶測等は作成当時の筆者の一見解を示すものであり、記載された内容を投資等にご利用になる際には、ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。